

## 「限界突破キャンプ」

### 1. 趣旨

7泊8日の遠征型キャンプで、登山・自炊などの活動を、仲間と共に、最後までやり抜くことを通して、何事にも自信を持って取り組める力を育む。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和3年7月10日(土)～11日(日)〈事前キャンプ〉、  
令和3年7月31日(土)～8月7日(土)〈7泊8日〉

#### (2) 参加者

- ①参加対象 小学5・6年生～中学1・2年生
- ②参加人数 17名
- ③参加者の内訳 小学5年5名、小学6年7名、中学1年2名、中学2年3名

### 3. 企画運営のポイント

- ①事業を「ファースト」「セカンド」「サード」「ファイナル」の4つのステージに分け、ステージごとにねらいを設定する。特に「セカンド」ステージの活動において、他者と協力する場面や自分たちがやらなくてはいけない場面を増やし、「人の役に立つ、人から褒められる、感謝される」等の経験がたくさんできるようにする。
- ②全日程を通し毎日、参加者が自分を見つめる振り返りの場を設ける。  
振り返りの場では、以下の2つの気づきを重視する。
  - (1) 自分の頑張りを認め、自分への肯定的な気づきを促す
  - (2) 仲間との関わりの中で自分の良さに気づかせる
- ③一人ひとりが翌日に頑張る目標を考え、目的意識を持って活動に向かわせる。
  - (1) 自分の立てた目標が達成できたかを毎日の振り返りの場で確認する。
  - (2) 自己と仲間との向き合い方について考えを深める子供達の様子をスタッフが観察し、考察する。

### 4. 日程

日程概要	プログラム	宿泊場所
7/10(土) 事前キャンプ1日目	参加者・保護者説明会、熱中症講義、仲間作り、野外炊事、登山講義	群馬県立妙義青少年自然の家
7/11(日) 事前キャンプ2日目	自然の家～妙義山(第2見晴台)登山～自然の家	
7/31(土) 1日目	開会式、仲間作り、チーム旗作り、野外炊事、登山講義	国立赤城青少年交流の家
8/1(日) 2日目	交流の家～榛名富士登山～交流の家	国立赤城青少年交流の家
8/2(月) 3日目	洗濯、野外炊事、お別れ会企画、テント設営	国立赤城青少年交流の家
8/3(火) 4日目	交流の家～鍋割山・荒山・鳥居峠～赤城山分校、テント設営、野外炊事	赤城山分校(テント泊)
8/4(水) 5日目	赤城山分校～黒檜山・駒ヶ岳・鳥居峠～赤城山分校	赤城山分校(テント泊)
8/5(木) 6日目	赤城山分校～鳥居峠・荒山～交流の家	国立赤城青少年交流の家

8/6(金) 7日目	キャンプのまとめ・発表、お別れ会準備、お別れ会（野外炊事・ボンファイヤー）	国立赤城青少年交流の家
8/7(土) 8日目	振り返り(アンケート等)、閉会式・決意表明	

## 5. 主な活動内容



仲間づくりレクリエーション



野外炊事



榛名富士登山



テント設営



鍋割山登山



黒檜山登山



キャンプまとめ



決意表明

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足17名(100%)

### (2) 参加者の声

- ・とっても楽しかった
- ・いろいろなことを学べた、体験出来た
- ・みんなとすぐ仲良くなれて楽しかった
- ・いろいろな人達と楽しめた
- ・みんなと協力してできた
- ・団結が深まってよかった
- ・登山や野外炊事などたくさんの体験ができた
- ・赤城山で一番高い山に登れて嬉しかった
- ・まわりの大人達に褒められて楽しかった
- ・登るのが大変だったけど、山頂についたとき嬉しかった、最高だった
- ・助け合ってとても楽しい登山ができた
- ・達成感がすごかった

### (3) 成果

- ①「セカンドステージ」(本キャンプ1～3日目)にチーム旗作り、野外炊事、テント設営を設定したことで、チーム内で助け合いや温かい言葉掛けが生まれ、チームへの所属感が高まった。
- ②毎日振り返りの場を設けることで、翌日の活動に目的意識をもって活動することができた。ボランティアを中心にフリートークを行うことで、自他の頑張りに気付くことができた。

### (4) 課題

- ①グループ編成における人数が、6人だった為1日の振り返りや、野外炊事等の活動を行う際に、意見の交換や、役割分担等で滞る場面が見受けられたため、1グループは4人がよい。
- ②登山等に不足の事態が起きた場合を考えると、スタッフ人数について熟考する必要がある。また、スタッフに何を担当してもらうかを明確にする必要がある。

担当：反町 峻、小林 大輔、成清 裕史